

2018年7月27日

経済レポート

グラフで見る東海経済(2018年7月)

調査部 主任研究員 塚田裕昭

【今月の景気判断】

東海経済は回復基調で推移している。

項目	現状(7月)	前月
1. 景気全般	回復基調	-
2. 生産	増加基調	-
3. 雇用	改善している	-
4. 賃金	持ち直しが一服	-
5. 個人消費	横ばい圏で推移している	-
6. 住宅投資	横ばい圏で推移している	-
7. 設備投資	増加している	-
8. 公共投資	増加している	横ばい圏で推移している
9. 輸出入	輸出は増加基調、輸入は横ばい	-
10. 金融	貸出は増加	-
11. 倒産	倒産件数は減少	-

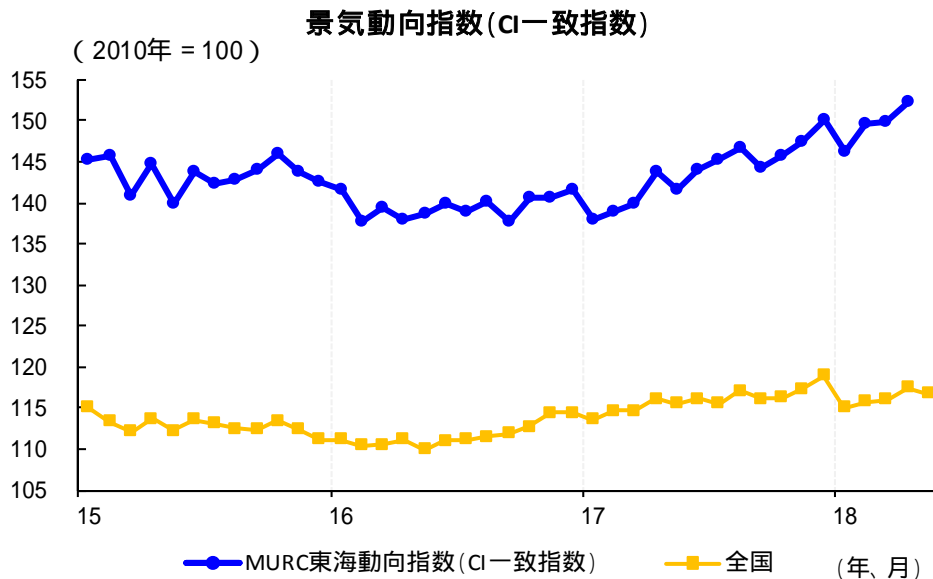
(注) シャドウ部分は前月と比較して見方を変更した項目(10.金融、11.倒産を除く)
前月のコメントが現状と同じ場合は - と表記

【今月のポイント】

- ・5月の生産は4ヶ月連続の増加となった。輸送機械が横ばいとなる中、電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械が増加に寄与し、全体では増加基調で推移している。
- ・個人消費関連では、百貨店、スーパーの売上げは足下前年比で増加している。一方、自動車販売は減少し、消費者の景況感は悪化しており、東海の消費は総じて横ばいで推移していると見られる。
- ・18年度の設備投資は大幅増が計画されているが、進捗は緩やかなものにとどまっている。

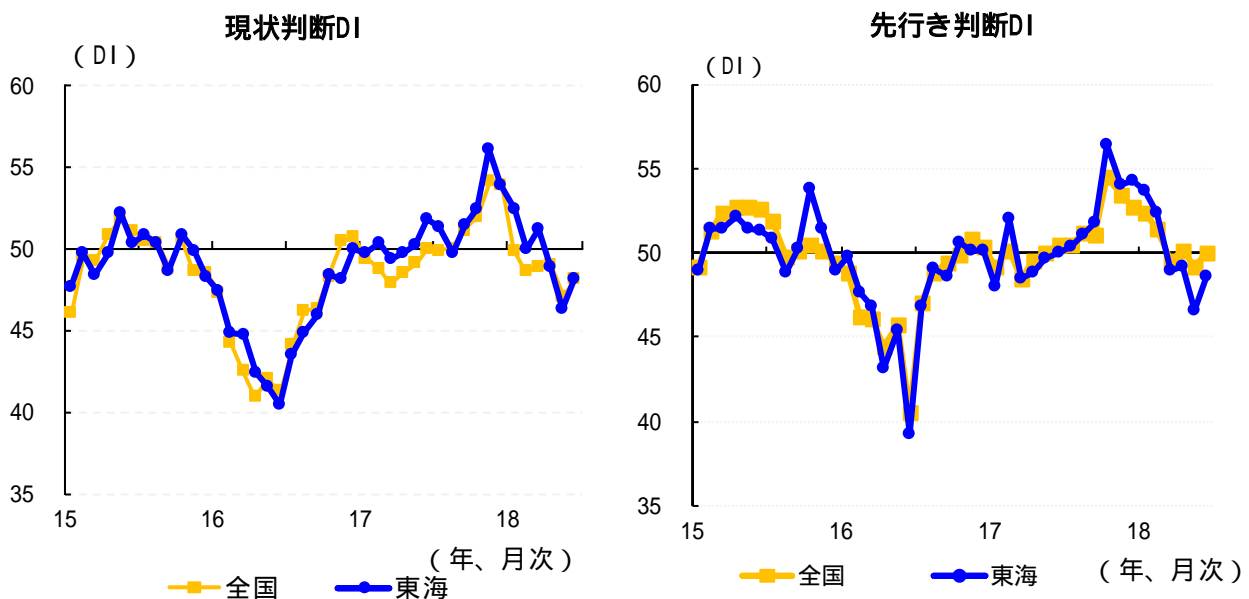
1. 景気全般 ~ 回復基調 (先行き: 回復基調)

4月のMURC東海景気動向指数(CI一致指数)は、前月差+2.4の152.2と3ヶ月連続で上昇した。



(出所) 内閣府「景気動向指数」、各県「景気動向指数」

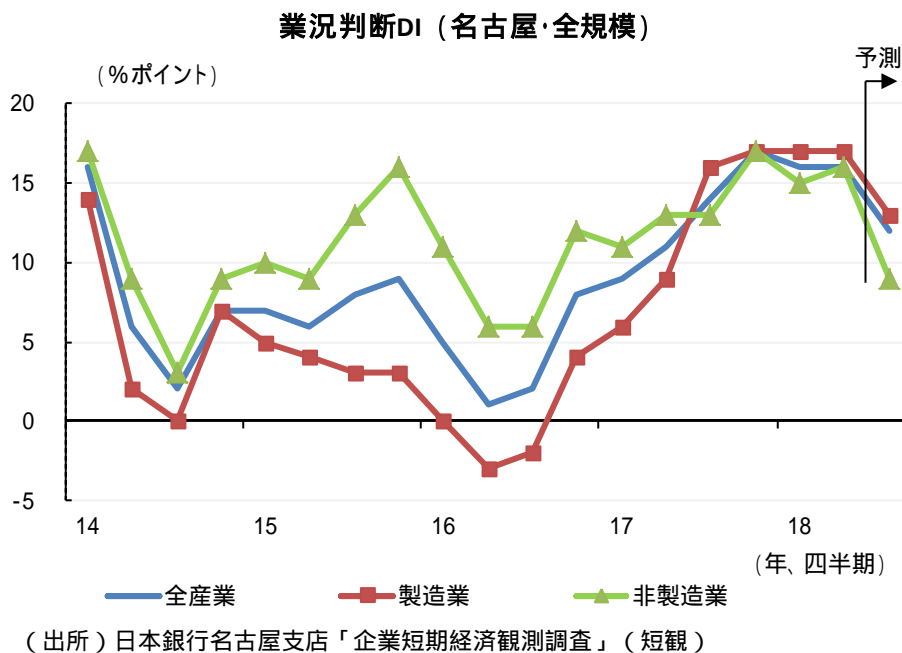
6月の東海4県の**景気ウォッチャー調査**は、足元の景況感を示す**現状判断DI**(季節調整値)が前月差+1.9ポイントの48.2と3ヶ月ぶりに上昇したが、横ばいを示す50を下回った。東海の景気マインドは弱い動きが続いている。**先行き判断DI**(同)は同+2.0ポイントの48.6と2ヶ月ぶりに上昇したが、50を下回っている。



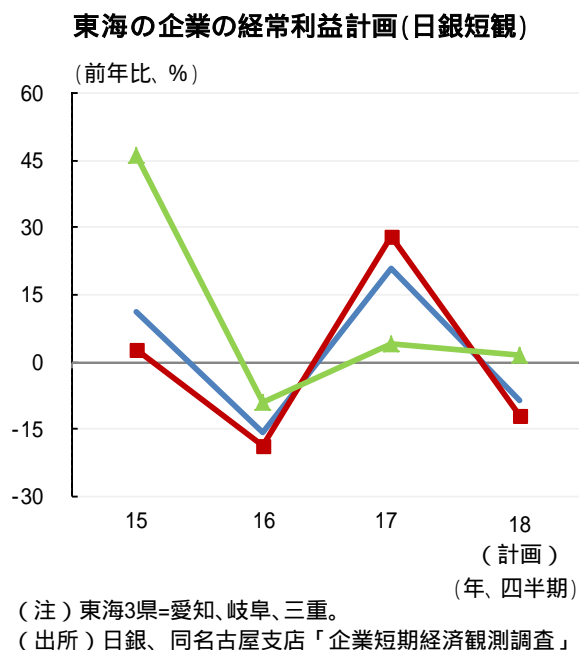
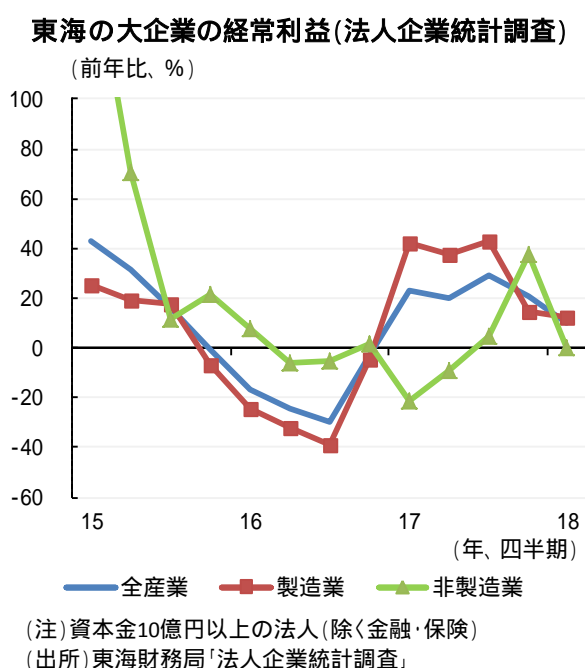
(注) DIは季節調整値

(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

日銀短観6月調査によると、東海3県の**業況判断DI**(「良い」-「悪い」)は、全産業[全規模](+16)、製造業[全規模](+17)がそれぞれ横ばい、非製造業[全規模]では+16と1ポイント上昇した。先行きについては、全産業、製造業、非製造業ともに悪化が見込まれている。



法人企業統計調査によると、2018年1~3月期の東海4県の**経常利益**(全産業)は前年同期比+10.3%と5四半期連続で増加した。製造業が同+12.7%と5四半期連続、非製造業は同+0.4%と3四半期連続で増加した。**日銀短観6月調査**では、東海企業の17年度の経常利益は全産業で同+21.1%、製造業で同+28.1%、非製造業で同+3.9%と前回3月調査から上方修正された。18年度は全産業(同-8.7%)、製造業(同-12.1%)、非製造業(同+1.5%)と見込まれている。

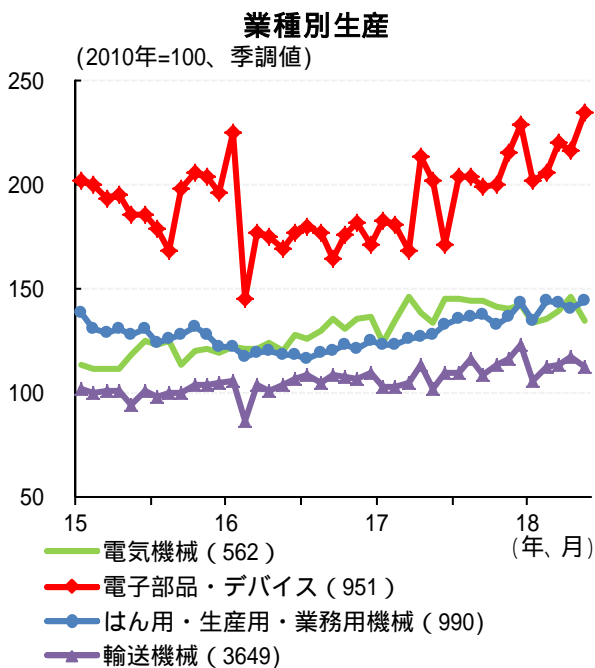
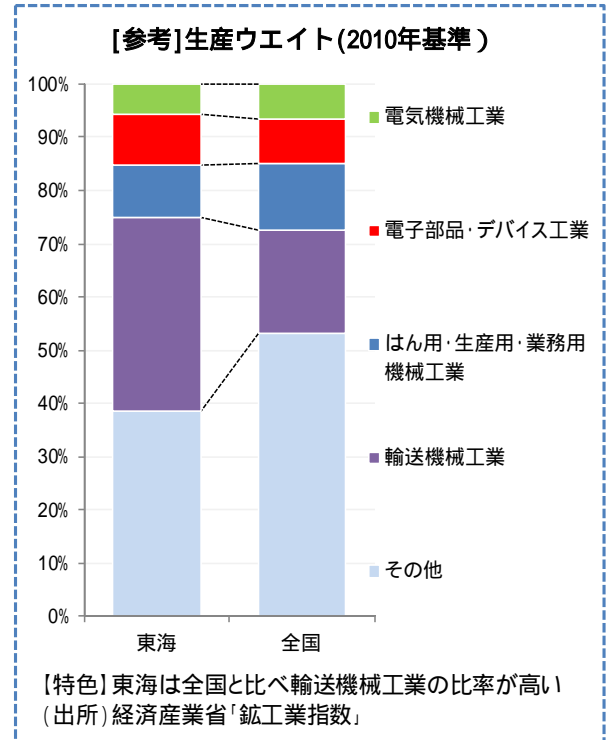


2. 生産 ~ 増加基調 (先行き: 増加基調)

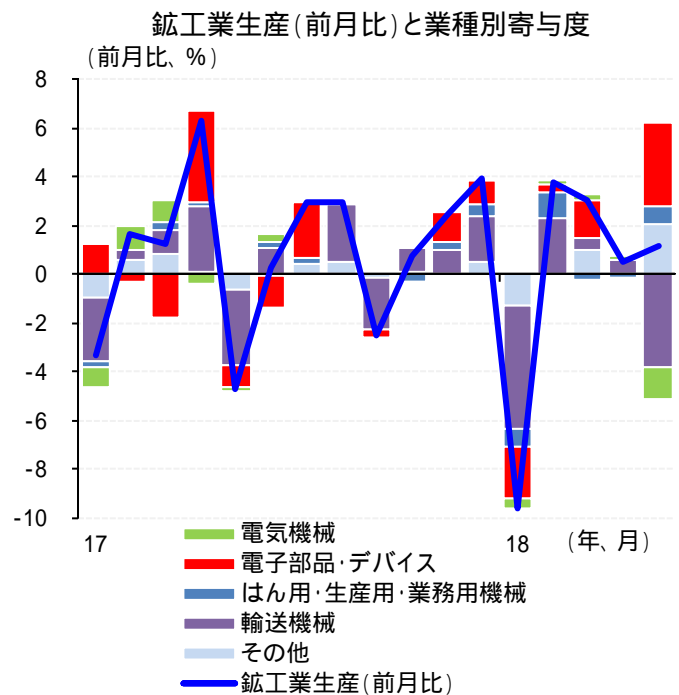
5月の東海3県の**鉱工業生産**は、前月比+1.2%と4ヶ月連続で増加した。電子部品・デバイス、化学工業、はん用・生産用・業務用機械などが増加した。



(注) 生産(全国)の「」は製造工業生産予測調査結果に基づく予測。
(出所) 中部経済産業局「鉱工業生産動向」
経済産業省「鉱工業指数」

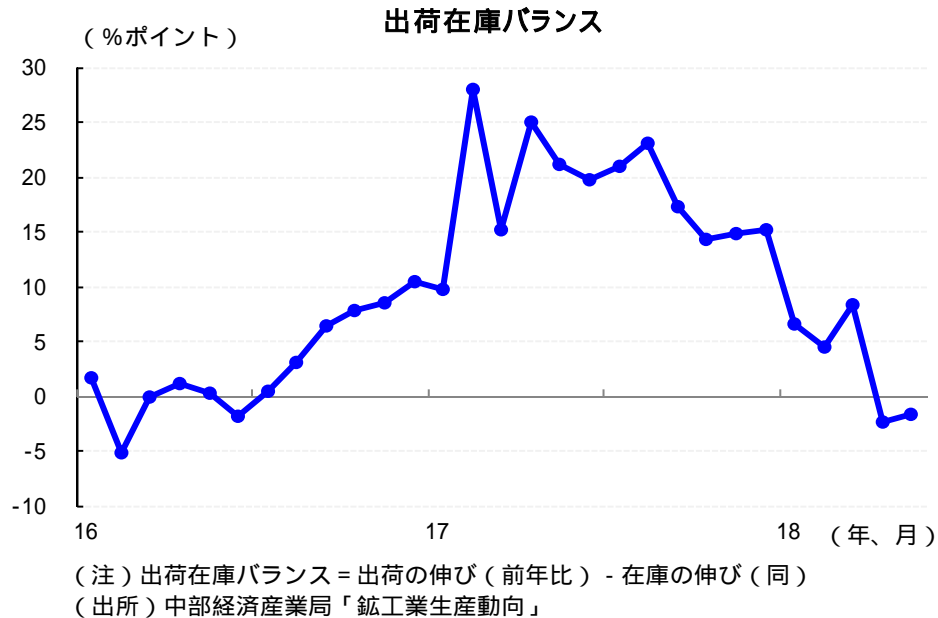


(注) 凡例の括弧内の数字は付加価値ウエイト(鉱工業 = 10,000)
(出所) 中部経済産業局「鉱工業生産動向」

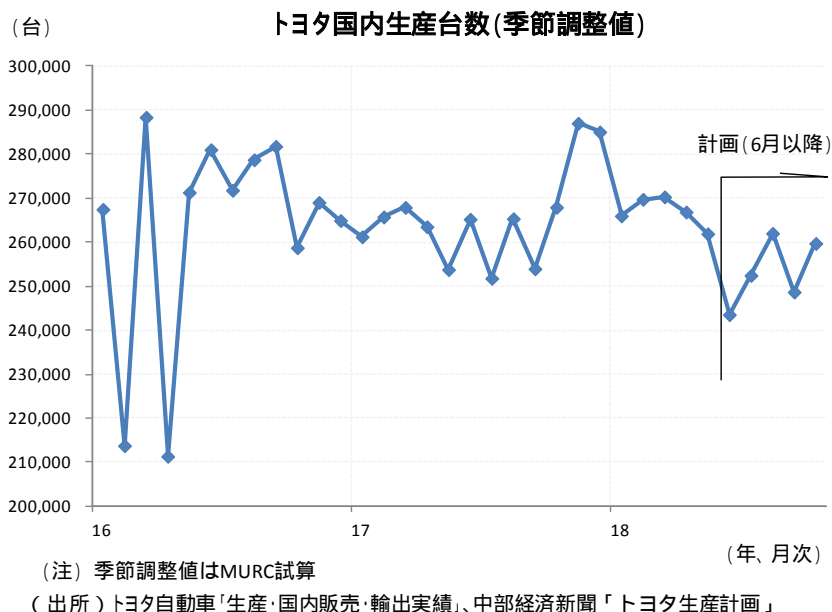


(出所) 中部経済産業局「鉱工業生産動向」

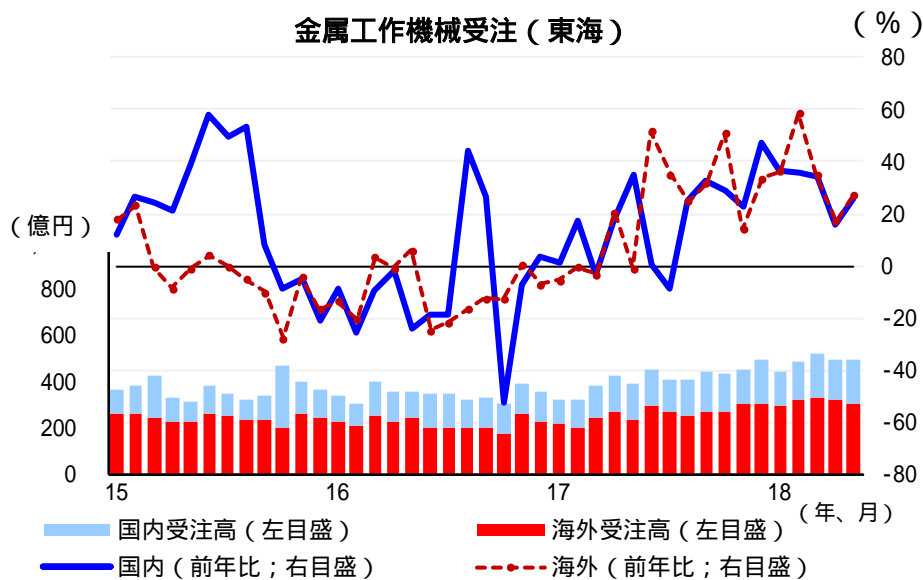
出荷の伸びから在庫の伸びを引いた**出荷在庫バランス**は、このところマイナスとなっている。



中部経済新聞社報道の**トヨタ自動車国内生産計画**によると、18年8~10月の国内日当たり生産台数は1万2,000台弱~1万3000台半ばで推移する見込みである。季節調整済みの数字(MURC試算)で見ると、総じて横ばいの推移が見込まれる。



5月の東海の**金属工作機械受注**は、前年比 +26.8%と14ヶ月連続で増加した。国内受注(同 +25.6%)は10ヶ月連続で増加、海外受注(同 +27.6%)は12ヶ月連続で増加した。地域別では、米国向けは16ヶ月連続、欧州向けは14ヶ月連続で増加した。また中国向けは17ヶ月連続で増加したほか、アジア(含む中国)向けも2ヶ月ぶりに増加した。

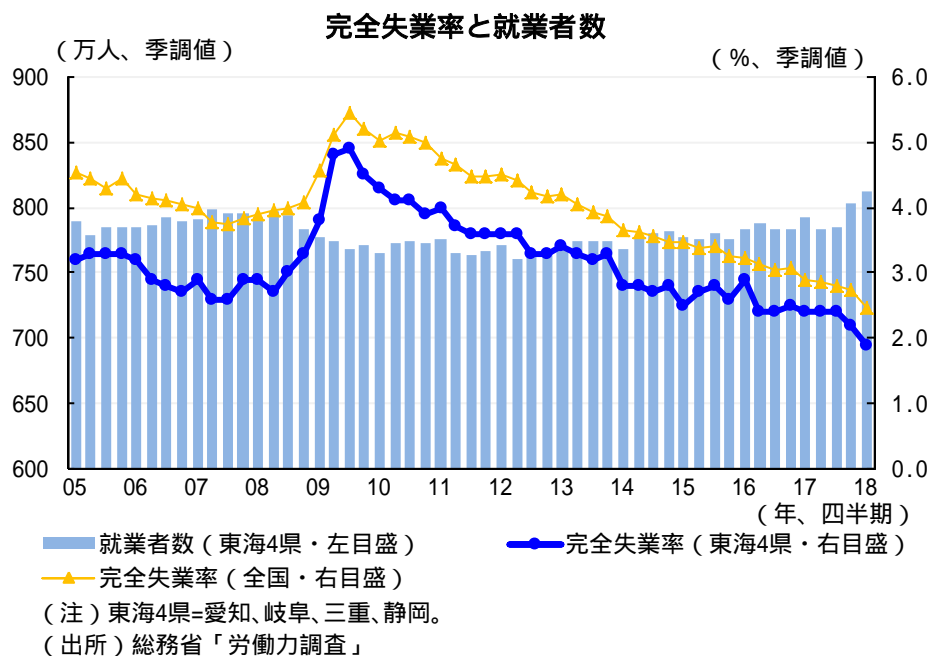


(注) 東海は、中部経済産業局管内の主要8社

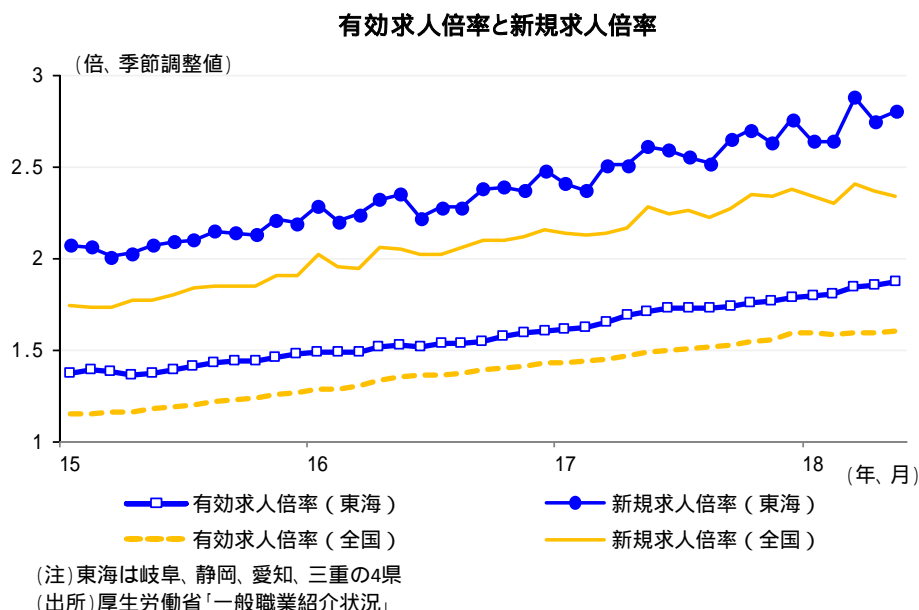
(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」

3. 雇用 ~ 改善している (先行き: 改善)

2018年1~3月期の東海4県の**完全失業率**は前期差 - 0.3%ポイントの1.9%と低下し、全国(2.5%)に比べて低い水準で推移している。同時期の**就業者数**は前期差10万人の増加、完全失業者は前期差3万人の減少となった。

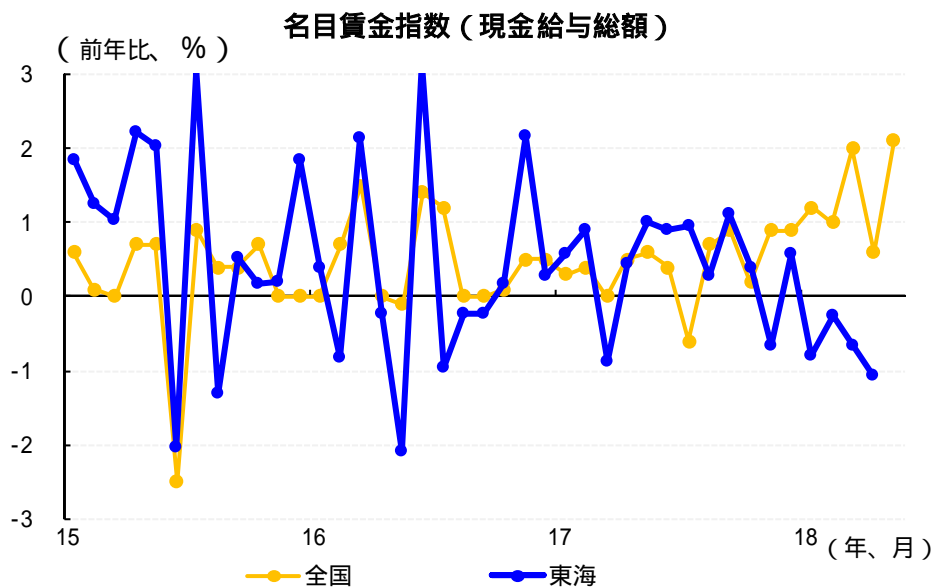


5月の東海4県の**有効求人倍率**は、1.87倍と前月(1.85倍)から小幅上昇した。有効求人数は前月比+1.3%と4ヶ月連続で増加し、有効求職者数は同+0.5%と3ヶ月ぶりに増加した。有効求人倍率に先行する**新規求人倍率**は2.80倍と前月(2.75倍)から小幅上昇した。新規求職申込件数は同-1.2%と2ヶ月ぶりに減少した。



4. 賃金 ~ 持ち直しが一服 (先行き: 持ち直し)

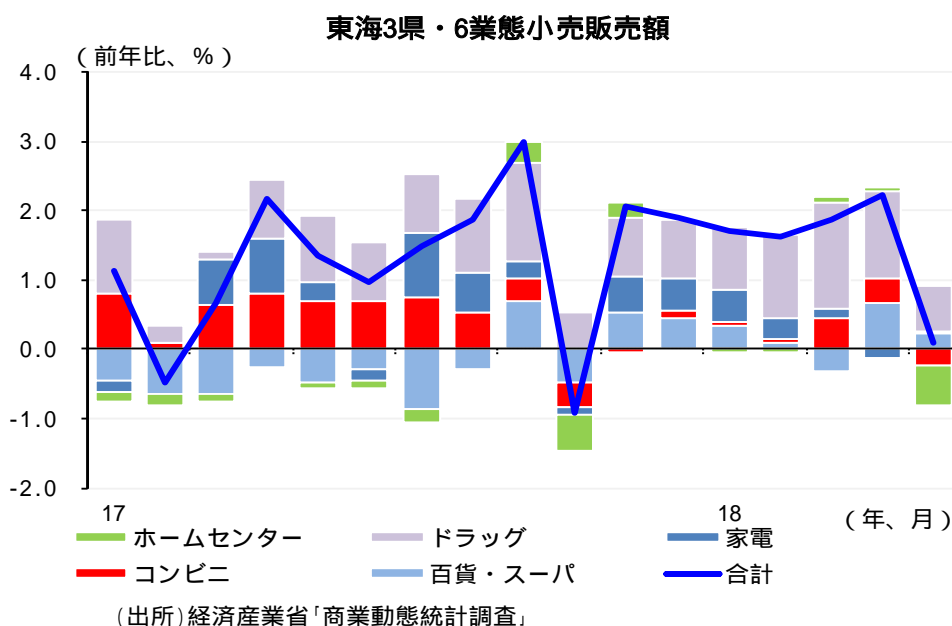
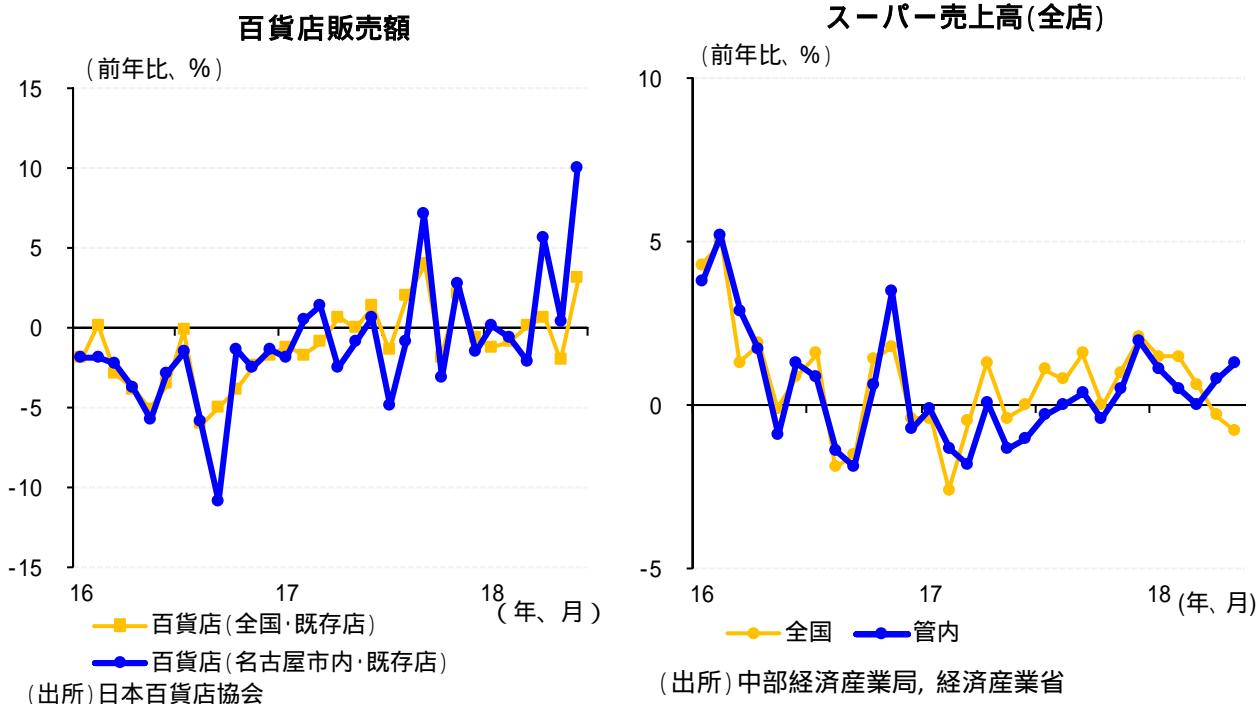
東海3県の4月の**名目賃金指数(現金給与総額)**は前年比 - 1.1%と4ヶ月連続で減少した。労働者数の約7割を占める愛知県(同 - 1.4%)が7ヶ月連続で減少となるなど、東海3県の賃金はこのところ持ち直しが一服している。



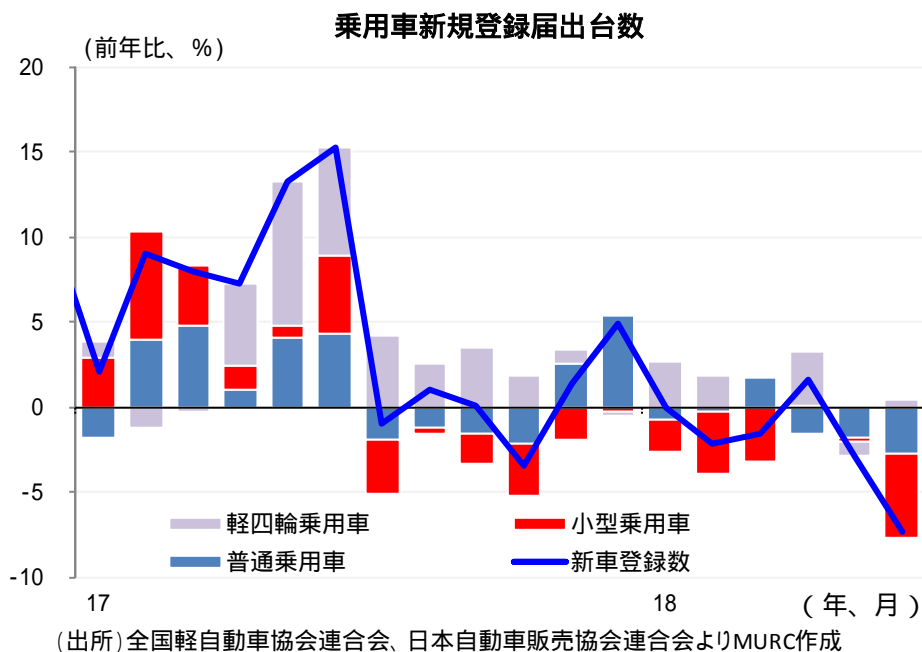
(注) 東海3県(愛知、岐阜、三重)の指数はMURC試算。常用労働者数で按分し合成。
 (出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」

5. 個人消費 ~ 横ばい圏で推移している (先行き: 緩やかに持ち直し)

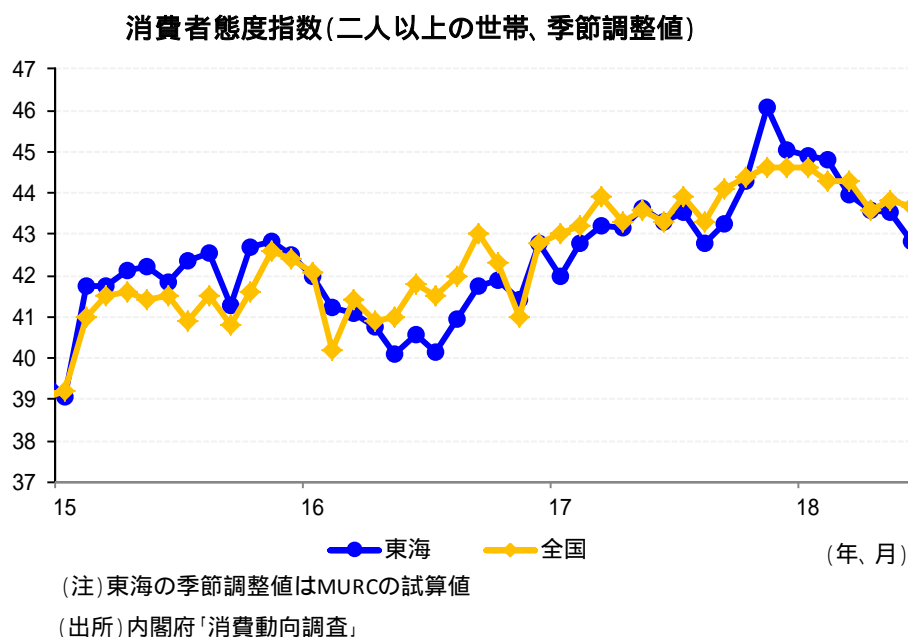
6月の名古屋市内の百貨店販売額(既存店)は前年比+10%と3ヶ月連続で増加、調査対象の10都市のなかでも最も高い伸びとなった。平年より気温が高いなか、衣料品や日傘といった衣料関連小物などの売れ行きが好調だったほか、美術・宝飾・貴金属などの雑貨も高い伸びをみせた。5月の中部5県のスーパー売上高は同1.3%と2ヶ月連続で増加した。



6月の東海3県の乗用車新規登録・届出数(乗用車、含む軽)は、前年比 - 7.3%と2ヶ月連続で減少した。内訳を見ると、軽自動車は同 + 1.6%と2ヶ月ぶりに増加したが、普通乗用車は同 - 7.0%と3ヶ月連続、小型乗用車は同 - 15.0%と3ヶ月連続で減少した。



消費者マインドを表す消費者態度指数(季節調整値：MURC試算値)は、昨年11月をピークに弱い動きが続いている。

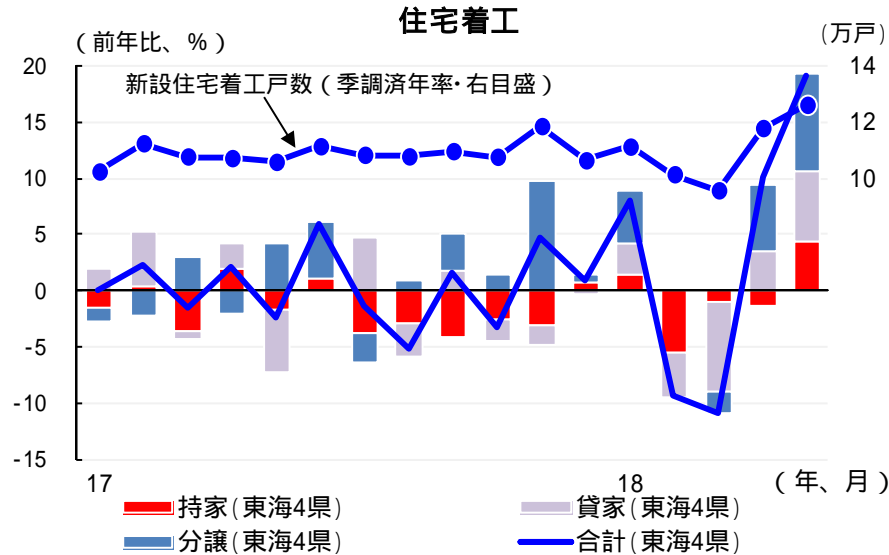


内閣府が5月に公表した地域別消費総合指数(直近は18年3月)によると、昨年11月をピークに弱い動きが続いている。



6. 住宅投資 ~ 横ばい圏で推移している (先行き: 弱含み)

18年5月の東海4県の**住宅着工戸数**(季調済: MURCI試算)は、前月比で+19.1%(季節調整済年率12.6万戸)と2ヶ月連続で増加したが、均して見ると横ばい圏で推移している。分譲、貸家が2ヶ月連続で増加、持家も4ヶ月ぶりに増加に転じた。



(注) 東海4県 = 愛知、岐阜、三重、静岡。季節調整は当社による。
 (出所) 国土交通省「建築着工統計」

内閣府が5月に公表した**地域別民間住宅総合指数(直近は18年3月)**によると、東海3県(岐阜、愛知、三重)の工事進捗ベースでの住宅投資の動向は、概ね横ばい圏で推移している。

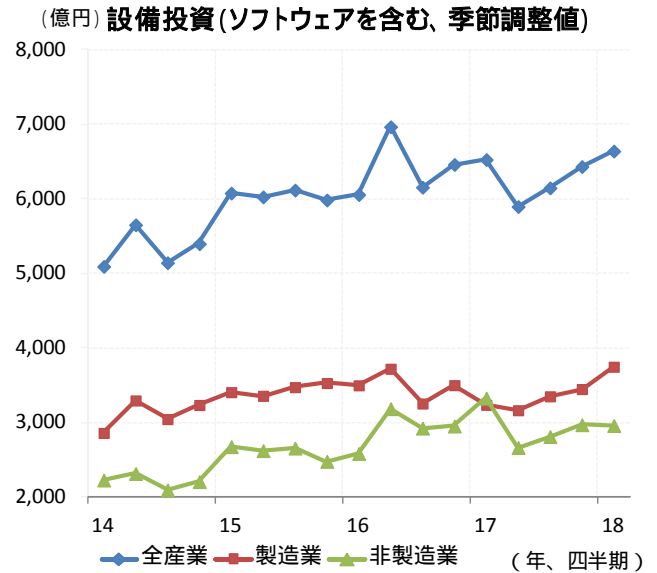


7. 設備投資 ~ 持ち直している (先行き: 持ち直し)

2018年1~3月期の東海4県の大企業の**設備投資**(ソフトウェアを含む)は、前年比+2.3%と4四半期ぶりに増加した。非製造業は同-10.5%と2四半期ぶりに減少したが、製造業が同+15.8%と2四半期ぶりに増加した。季節調整値(MURC試算)の動きを見ると、緩やかな増加基調となっている。

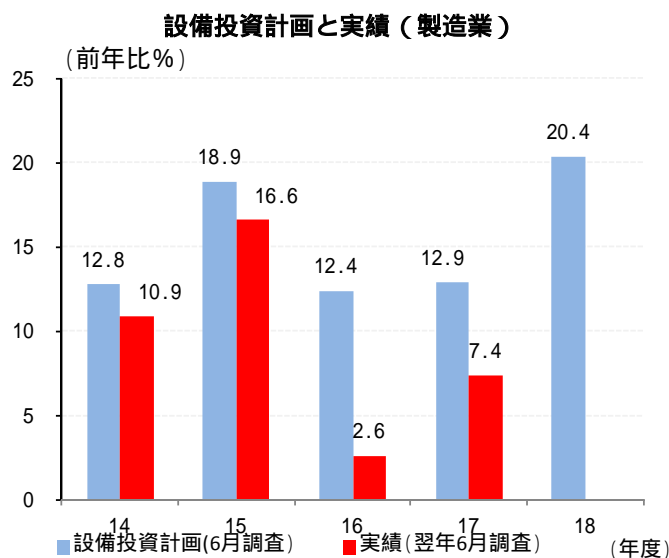
期	東海			全国		
	全産業	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業
17/1-3	8.4	-7.5	29.5	4.5	1.0	6.3
17/4-6	-15.1	-14.6	-15.8	1.5	-7.6	6.9
17/7-9	-0.7	2.4	-4.3	4.2	1.4	5.9
17/10-12	-0.6	-1.2	0.0	4.3	6.5	3.0
18/1-3	2.3	15.8	-10.5	3.4	2.8	3.6

(出所) 財務省「法人企業統計調査」

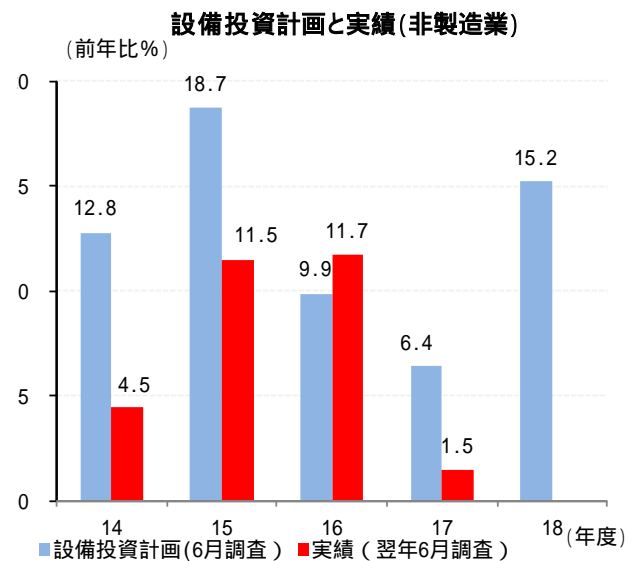


(注) 季調はMURC
(出所) 財務省「法人企業統計調査」

日銀短観6月調査によると、東海3県の17年度の**設備投資**は全産業で前年比+4.6% (3月調査同9.9%)と増加した。内訳をみると、非製造業は同+1.5% (同+9.0%)、製造業は同+7.4% (同+10.8%)となった。18年度については、全産業で同+18.0%、製造業で同+20.4%、非製造業で同+15.2%と大幅な増加が計画されている。



(注) 設備投資は含む土地投資額
(出所) 日本銀行名古屋支店「短観」



内閣府が5月に公表した**地域別民間企業設備投資総合指数(直近は18年3月)**によると、東海3県(岐阜、愛知、三重)の民間企業設備投資は、2016年半ば以降、総じて増加基調で推移してきたが、足下で増加に一服感が見られる。

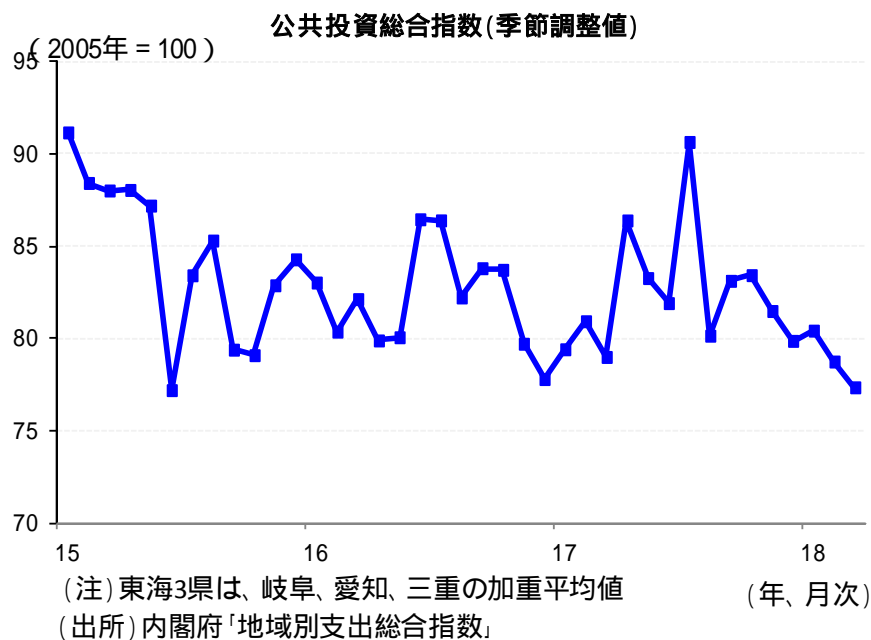


8. 公共投資 ~ 増加している (先行き: 横ばい圏)

東海3県の公共工事請負額(年度累計)(4-6月)は前年比+14.2%と増加している。東海の公共投資は新年度入り後、増加している。6月単月では、同-2.2%の1048.9億円と3ヶ月ぶりに前年を下回った。

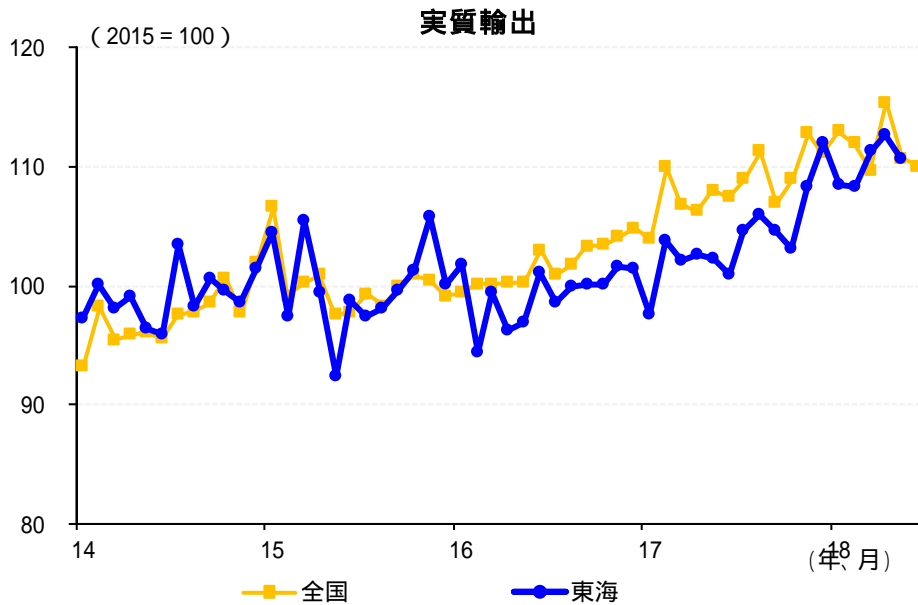


内閣府が5月に公表した地域別公共投資総合指数(直近は18年3月)によると、東海3県(岐阜、愛知、三重)の工事進捗ベースでの公共投資は、2015年以降、均して見ると減少傾向で推移してきた。2017年度に入ってから、前半に強含んだ後、後半は弱含んでいる。



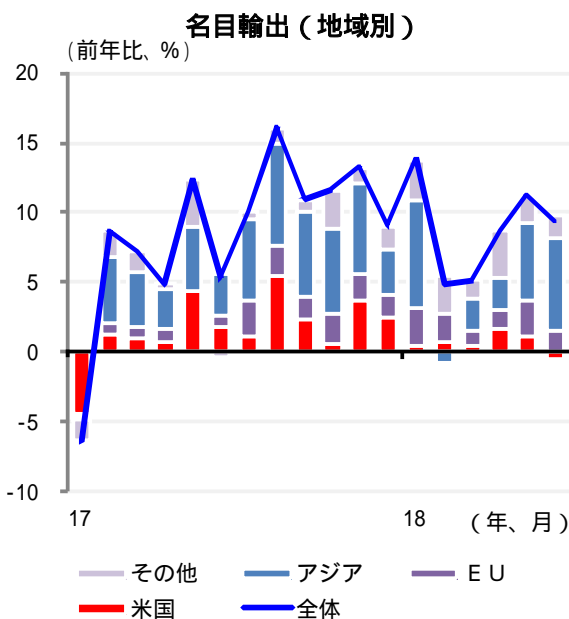
9. 輸出入 ~ 輸出は増加基調、輸入は横ばい (先行き：輸出は増加基調、輸入は横ばい)

5月の**実質輸出**(季調済)は前月比-1.8%と3ヶ月ぶりに減少したが、均して見ると増加基調で推移している。

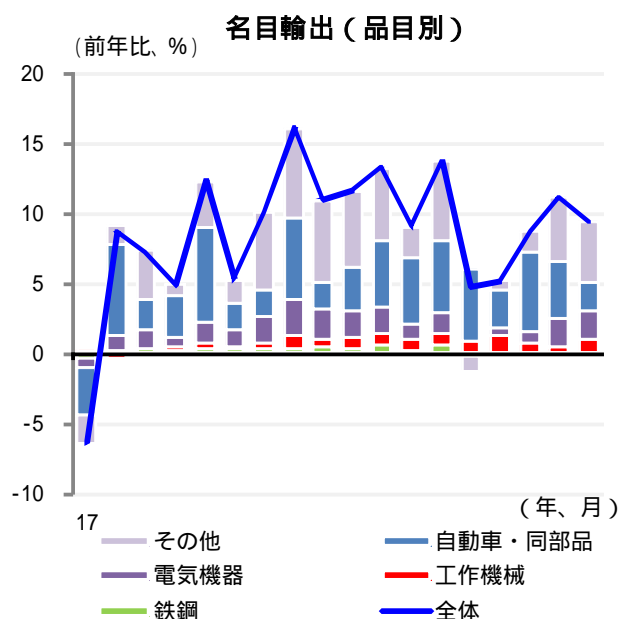


(出所)日本銀行名古屋支店「実質輸出入」

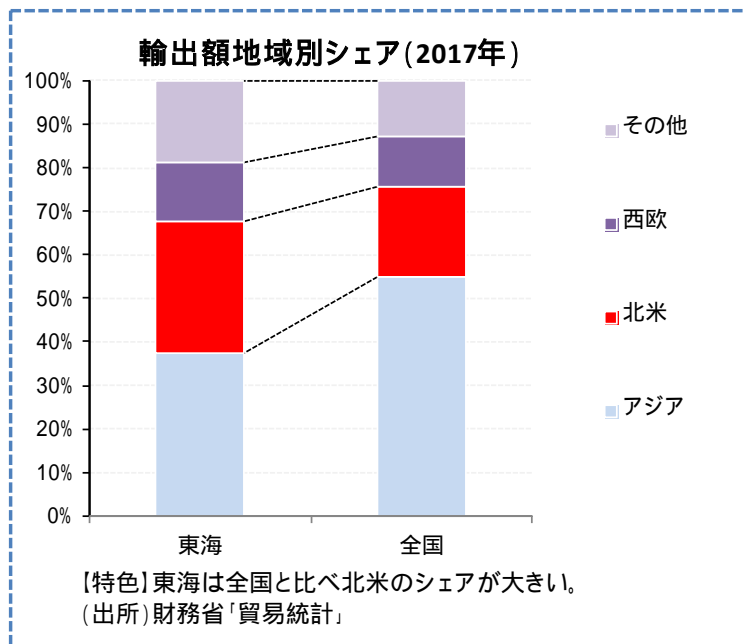
6月の名古屋税関管内の**名目輸出額**は前年比+9.4%と17ヶ月連続で増加した。地域別では、米国向けが同-1.6%と17ヶ月ぶりに減少したが、アジア向けが同+17.7%と4ヶ月連続、EU向けが同+11.3%と13ヶ月連続で増加した。品目別では、自動車部品(同+9.2%)、金属加工機械(同+33.9%)、自動車(同+2.6%)などが増加した。



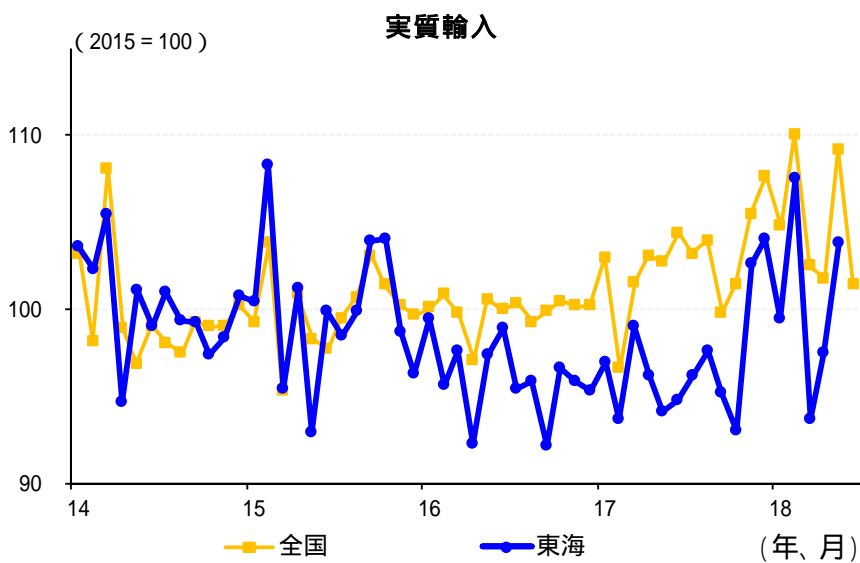
(出所)財務省「貿易統計」



(出所)財務省「貿易統計」

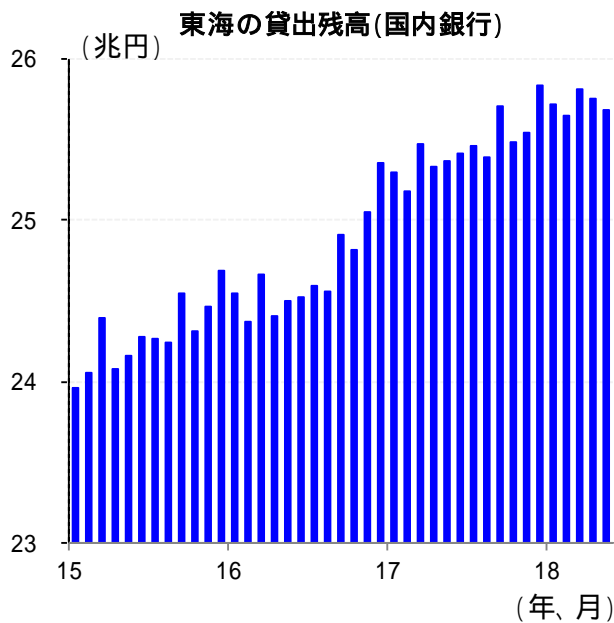


5月の**実質輸入**(季調済)は、前月比+6.5%と2ヶ月連続で増加した。東海の輸入は均してみると横ばいとなっている。

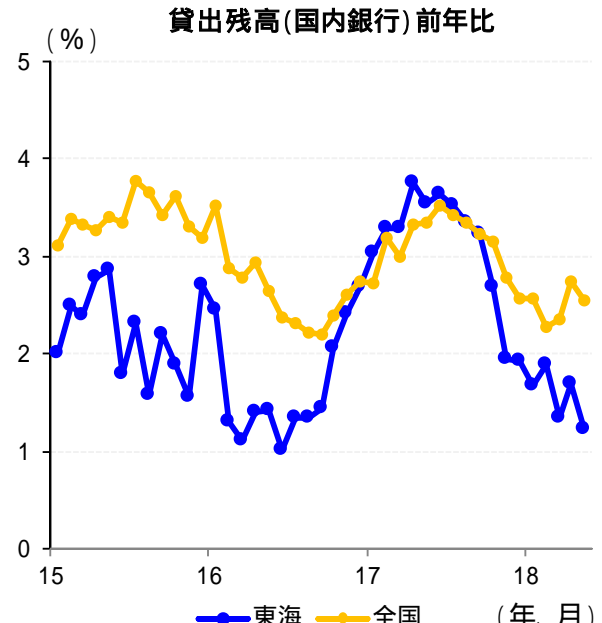


10. 貸出 ~ 貸出は増加

18年5月の東海3県貸出残高(国内銀行ベース)は、資金需要が持ち直している中、同+1.2%と63ヶ月連続で増加した。



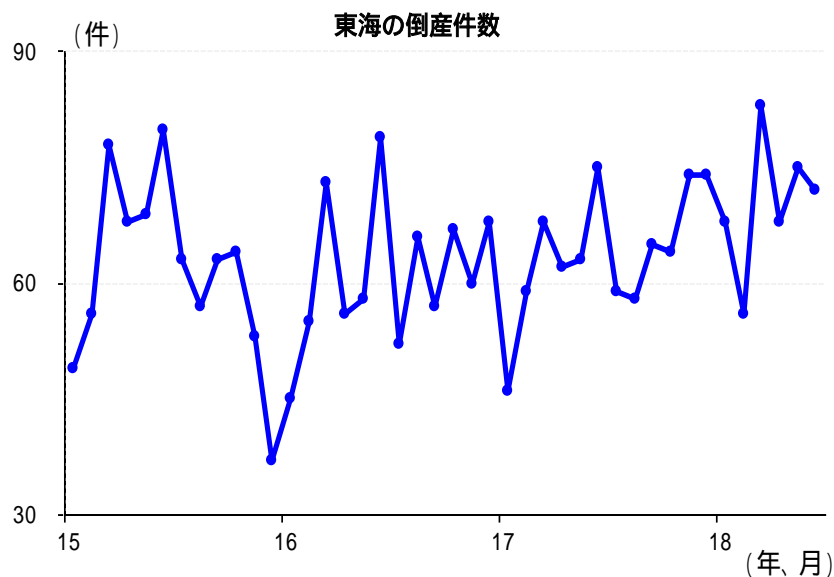
(出所) 日本銀行



(出所) 日本銀行

11. 倒産 ~ 倒産件数は減少

6月の東海3県の倒産件数は前年比 - 4.0%の72件(前年同月75件)と4ヶ月ぶりに減少した。一方、倒産企業の負債総額は同+35.2%の221億円と2ヶ月連続で前年を上回った。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。